

1. 建物概要

建物名称	サーパス藤枝サウスフォート	BEE	1.7	BEEランク	A	★★★★
------	---------------	-----	-----	--------	---	------

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [*] /満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.5	/5	ふつう
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.5	/5	ふつう
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.6	/5	がんばろう
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.7	/5	がんばろう
※対応するCASBEEのスコア（平均）を5点満点で表示 します。（スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点）	評価 凡例	よい 4 点以上  ふつう 3 点以上  がんばろう 3 点未満 	

3. 重点項目についての環境配慮概要

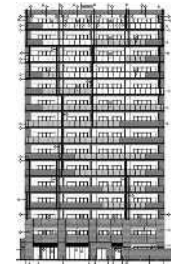
		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。				
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点		
 ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①UA値:0.57以下 ③底(バルコニー)+カーテンによりグレアを制御 ④品確法等級3相当 ④内装材の更新必要間隔20年程度 ④主要な給排水管の更新必要間隔B以上、Eは不使用 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑化指数22%程度 ⑥空地率63%程度 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦5-1断熱等性能等級における等級5相当 ⑧BEI:0.71 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマなどに加え省水型機器を採用 ⑫リサイクル資材を2種類採用 ⑬ODP=0かつ、GWPが10以下を用いた断熱材を使用 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭LCCO2排出率71% ⑮隣棟間隔指標0.46程度	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔		
	Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上		
	LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑪	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制		
	LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑫ 1.2.2 ⑬ 2 2.1 ⑭ 2.2 ⑮ 2.3 ⑯ 2.4 ⑰ 2.5 ⑱ 2.6 ⑲ 3 3.1 ⑳ 3.2 ㉑ 3.2.1 ㉒ 3.2.2 ㉓ 3.2.3 ㉔	⑪ 節水 ⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存建築躯体等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑱ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑳ 有害物質を含まない材料の使用 ㉑ 消火剤 ㉒ 断熱材 ㉓ 冷媒		
	LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
	“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	
	 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯建築基準法に定められた25%増の耐震性 ⑰通信手段の多様化、災害情報の入手等	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑰ 2.4 2.4.1 ⑱ 2.4.2 ⑲ 2.4.3 ⑳ 2.4.4 ㉑ 2.4.5 ㉒	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑳ 電気設備 ㉑ 機械・配管支持方法 ㉒ 通信・情報設備	
	“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	
	 ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ㉑階高2.915m ■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮)	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ㉑ 3.1.2 ㉒	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ㉑ 空間の形状・自由さ ㉒ 地域性への配慮、快適性の向上	
Q-3 3 3.1 ㉒				
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点		
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑化指数22%程度 ㉒周辺まちなみへの調和 ⑥空地率63%程度 ■敷地外環境対策 (⑲持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮隣棟間隔指標0.46程度	Q-3 1 ⑤ 2 ⑲ 3 3.2 ⑥	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑲ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上		
	LR-2 2 2.5 ⑲ LR-3 2 2.2 ⑮	⑲ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善		

CASBEE®-建築(新築)

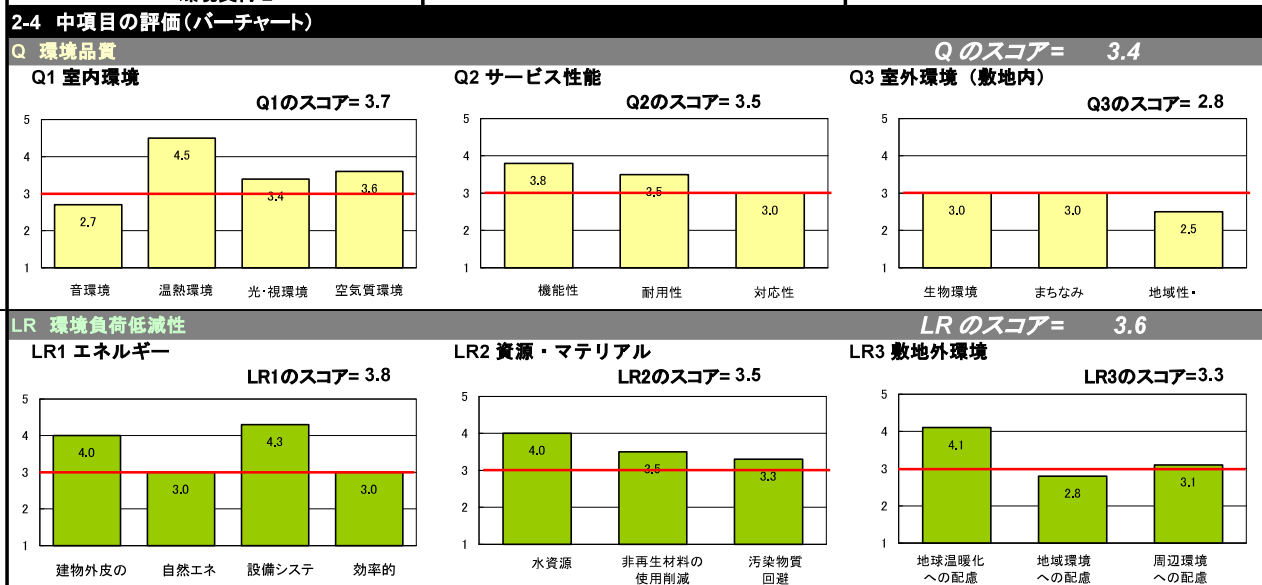
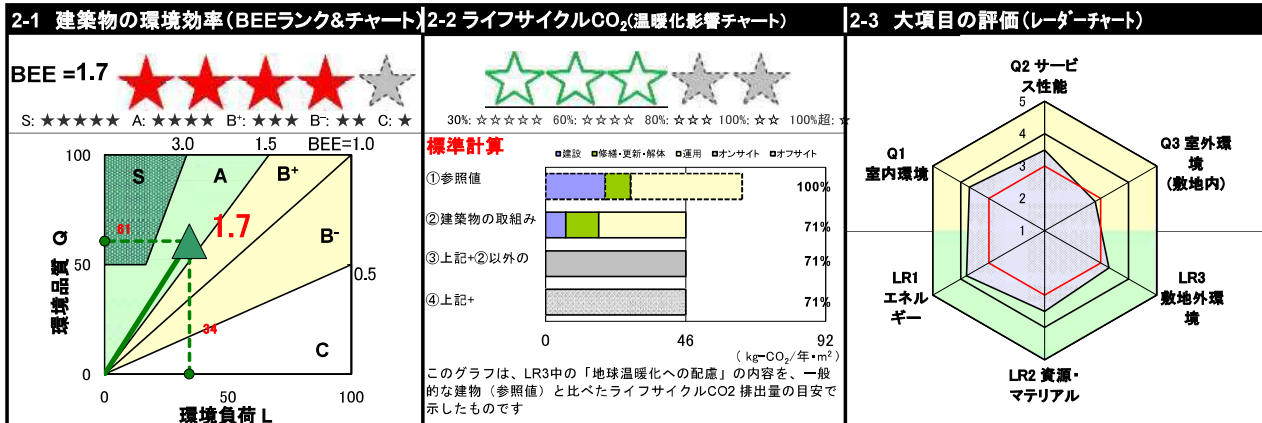
評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_通称版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サーバス藤枝サウスフォート	階数	地上15F
建設地	静岡県藤枝市田沼一丁目4番4	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	228 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年12月 予定	評価の実施日	2025年9月25日
敷地面積	1,329 m ²	作成者	大久保 英樹
建築面積	488 m ²	確認日	
延床面積	5,028 m ²	確認者	



ください



3 設計上の配慮事項	
総合	その他
これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。	特になし
Q1 室内環境 日本住宅性能表示5-1断熱など性能等級4を超える計画とし、省エネルギーで快適な室内環境を形成する。	Q2 サービス性能 更新必要間隔の長い建材を採用する事で、永くより良い状態で建築物を使い続けられ機能的側面に寄与する。
Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数22%や生態系への配慮ある緑地づくりを施す事で、温熱環境の配慮と生育環境の保全・創出に寄与する。	LR3 敷地外環境 屋外広告物照明の設置をしない事により、外に漏れる光への対策と配慮に努めている。
LR1 エネルギー 適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めるとともに、高効率の設備を採用し建築物の環境負荷低減を図る。	LR2 資源・マテリアル 非構造材料にリサイクル材の使用をする事で、非再生性資源の使用量削減に努め、環境負荷削減へ貢献する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される